

第 2 次男女共同参画基本計画(改訂版) の平成 29 年度～令和元年度の 総括評価について

1. 総括評価の対象事業

- ・全 130 事業
- ・評価指標を設定した 30 の管理指標

2. 事業評価について

習志野市男女共同参画推進条例施行規則第 6 条第 1 項の規定に基づき、例年は習志野市男女共同参画審議会に習志野市男女共同参画基本計画事業評価部会を設置し、基本計画の進捗状況の評価を行っています。

事業評価部会は、市民や関係者等を交え、計画の理念や上位の目標を阻む課題を共有し、未来に向けて現在の取り組みの内容を見つめ直す「未来志向の評価」として、優れた取り組みの創出や改善・改革を進める対話に取り組んでいます。

令和 2 年度においては、感染症拡大防止のため事業評価部会は設置せず、担当課による評価結果をもとに総括評価をします。

3. 総括評価の視点

- ①第 2 次男女共同参画基本計画(改訂版)の取り組みにより、本市の男女共同参画が推進されたか。
- ②第 2 次男女共同参画基本計画(改訂版)の評価を踏まえ、一層の強化が必要な分野や取り組みはあるか。

《参考》

(1)対話の目的

- ①上位目標を効率的、効果的達成するための当該事業の見直し
- ②関係課同士の連携の可能性の把握
- ③計画見直しに際しての事業担当課からの課題や新たな取り組みの把握

(2)対話の方法

審議会委員 6 名～7 名で構成する事業評価部会を審議会に設置し、年 1 回程度、事業担当課職員との対話を行い、事業評価を行います。